

令和2年6月9日

保護者のみなさま

今帰仁村立天底小学校
校長 濱川 栄優
(公印省略)

校内でタイワンハブ発見・捕獲について (注意喚起)

時下、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本校教育活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

さて、梅雨の時期に入りハブが活発に活動する季節となりました。沖縄県でも「ハブ咬傷注意報」が発令され、学校においても、過去にタイワンハブやアカマタが捕獲されていることから、児童に注意を喚起してまいりました。

この度、5月8日(月)にがじゅまる教室前のスノコ下からタイワンハブを発見・捕獲し教育委員会へ報告しました。

そこで、教室前のスノコの撤去、水飲み場下の片付けを行うなどハブが好む環境を作らないようにしました。また、教育委員会に指導を仰ぎハブが校内への侵入がないよう対策を講じてまいりたいと思います。

これからも、学校では、児童へ草むらや木の茂っている場所へ入らない指導や草刈り等の環境整備に努めてまいります。

つきましては、住宅敷地内外、畑や草むら、水辺(ハブは泳ぎも得意)等ハブが生息していると思われるので、下記を参考にご家庭でも児童に対してお話くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 隠れ場所をなくす

■石積みなどの穴をうめる。不要な木材や産業廃棄物は片付ける。

2. 侵入を防ぐ

■フェンスや塀で囲む。(150 cm以上)

3. ハブの餌となる生き物などが集まらないようにする

■ゴミなどを放置し、ネズミなどが集まらないようにする。

4. ハブが好む環境を作らない

■雑草が伸びすぎないように草刈り等でじめじめした環境を作らない。

5. 屋外での活動に注意する

■草むらを歩いたり、木の洞や穴などに手を入れない。作業をするときは長靴をはき、鎌などによる手作業はできるだけ避ける。

裏面もご覧下さい



令和2年6月8日(月)

1 ハブを見かけたら…

- (1)離れることが可能な時は1.5m以上距離を置きましょう。
- (2)近くにいる大人に知らせましょう。

2 ハブにかまれたら…

1 まず、慌てずに、ハブかどうかを確かめます。

ヘビの種類が分からなくても、ハブなら牙のあとが普通2本(1本あるいは3,4本の時もあり)、数分で腫れてきてすごく痛みます。

2 大声で助けを呼び、すぐに医療機関へ受診しましょう。

走ると毒の回りが早くなるので、車で病院に運んでもらうか、ゆっくり歩いて行くようにしましょう。

3 病院まで時間がかかる場合は、包帯やネクタイなど、帯状の幅の広い布で、指が1本通る程度にゆるく縛ります。

血の流れを減らす程度にゆるく縛り、15分に1回はゆるめましょう。決して細いヒモなどで強く縛ってはいけません。恐怖心から強く縛ると血流が止まり、逆効果になることもあります。

3 ハブ抗毒素常備医療機関

	医療機関名	住所	電話番号
1	県立北部病院	名護市大中2-12-3	52-2719
2	県立療養所沖縄愛楽園	名護市字済井出1192	52-8331
3	北部地区医師会病院	名護市字宇茂佐1712-3	54-1111
4	国頭村立診療所	国頭村字辺土名1437	41-5380
5	県立北部病院付属伊平屋診療所	伊平屋村字我喜屋217	46-2116
6	伊江村立診療所	伊江村字東江前459	49-2054
7	国頭村立東部へき地診療所	国頭村安田170	41-7511

(平成31年 4月現在)